

緑の祭典でモンキーブリッジを作りました。

東村山第2団のボーイ隊では、毎年4月29日（祝）のみどりの日に東村山中央公園で行われる「緑の祭典」で、モンキーブリッジを作って緑の祭典に参加している多くの方々に渡ってもらっています。

一般のお子さんが渡るので、それなりに頑丈に作る必要がありますが、作る側のボーイ隊は毎年新しいスカウトが入ってくるので、なかなか厳しいものがあります。スカウトが結んだ角縛りがみんなの安全を繋いでいるのです。



シャーク班 班長 渡部 晋吾

モンキーブリッジを作るのは4回目になるので少しは慣れてきました。それでも荒縄や麻紐で硬く縛らなければならないので、手がしびれて大変でした。初級スカウトに教えながら作業したが、多くは巻き直しが必要で苦労した。ロープワークは夏キャンで使うくらいで実際に使う機会があまり無いので、モンキーブリッジは良い経験になります。

ドルフィン班 班長 今野 すずな

私の班は私も含めて女子スカウトが3人います。女子スカウトは力が弱いのでロープを結ぶのが大変でした。

モンキーブリッジは初めてのスカウトに教えながら組み上げてゆくのが難しかった。

出来上がったブリッジをたくさんの小さな子供たちが渡っているのを見て嬉しかったです。

シャーク班 初級 安藤 弘晃

疲れた、疲れた。こんなに大きなものを自分たちはよく作ったと思います。縛り方は班長やベンチャー隊のお兄さんに教わりながら作りました。でも、もう忘れちゃったけど。

カブ隊の時は、渡るだけ（怖かったけれど）でよかったのですが、ボーイ隊は自分たちで作らなければならないので、大変でした。来年は、教わらなくてもできるようにがんばりたいと思います。

